


総括



同志社大学 神学部教授
良心学研究センター長
小原 克博

1

1

何を学んできたのか

3

Overview

1. 何を学んできたのか
2. 建学の精神を振り返る
—— 「壁」を越えるために
3. キリスト教(主義)を振り返る
——異なる未来を生み出すために
4. 今回の課題

2

1 (4/14)		導入
2 (4/21)	【建学の精神に関する学び】	新島襄の生涯 (1)
3 (4/28)		新島襄の生涯 (2)
4 (5/12)		私学・同志社
5 (5/19)		初期同志社を支えた人々—熊本バンド、アメリカンボード
6 (5/26)		新島襄の教育観・人間観 (1)
7 (6/2)		新島襄の教育観・人間観 (2)
8 (6/9)		同志社150年史ハイライト—建学の精神の変遷
9 (6/16)	【キリスト教に関する学び】	イエスとその運動
10 (6/23)		キリスト教の歴史的展開
11 (6/30)		米国におけるキリスト教
12 (7/7)		キリスト教と人権・尊厳
13 (7/14)		キリスト教と良心
14 (7/21)		キリスト教主義の未来
15 (7/28)		総括

4

『新島襄365』を完読！

・1日目～5日目

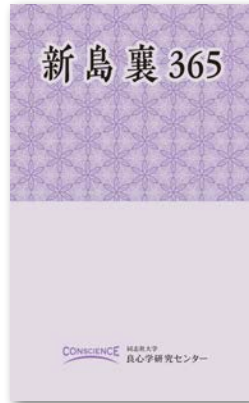
新島襄の言葉（1）～（261）

・6日目 新島襄の評伝（1）～（52）

・新島の人柄や思想の輪郭を巧みに描写している知人・友人たちの言葉を集めています。

・7日目 同志社エピソード（1）～（52）

・新島の誕生から現代に至る同志社史の重要エピソードを紹介しています。



5

2

建学の精神を振り返る — 「壁」を越えるために —

6



1843
誕生



1864
脱国



1890
死去



7

冒険的生涯

良心とは？

倜儻不羈

8

脱国までの新島襄

- ・幼年期・青年期の新島
- ・21歳まで江戸の安中藩邸内で暮らす
- ・空間的な制約：鎖国
- ・時代的な制約：封建的な社会秩序



9

新島の新しい一歩

- ・「壁」を乗り越える、「運命」を切り開く
- ・「自由」を求めて
- ・アイデンティティの変化・成熟：「偉人伝」ではない新島の理解



10

なぜ日本を脱出したのか？

- ・ボストン到着後の新島がハーディ夫妻に宛てた手紙
- ・「日本脱出の理由」（1865年）
- ・強い知的好奇心・探求心
- ・「創造者なる神」との出会い：世界観の変化
- ・自由への強いあこがれ

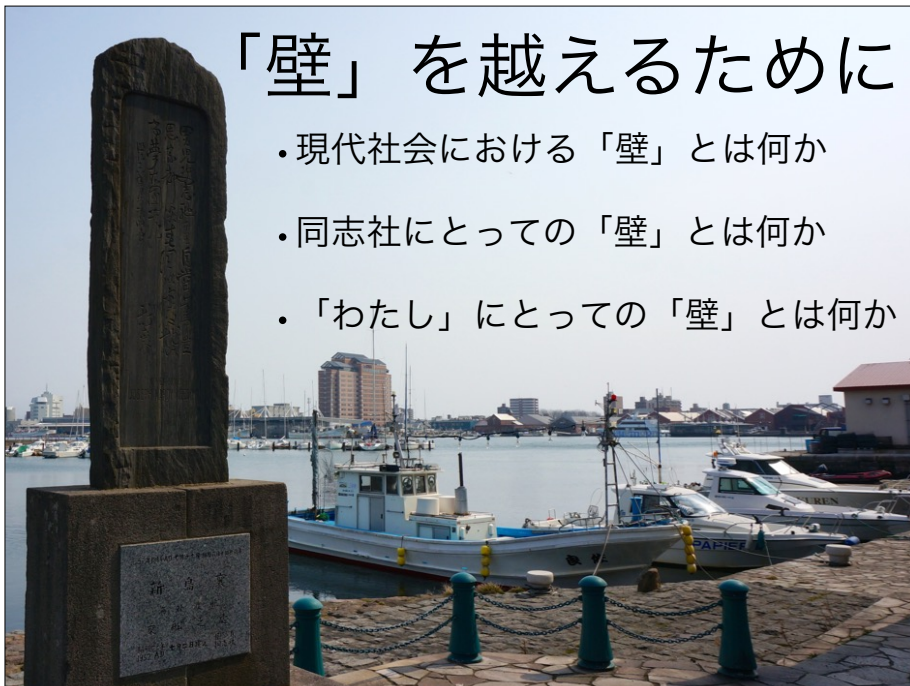


11

しかし、私はためらった。祖父や両親を悲しませよう、との思いがあったからだ。その思いがしばらくの間、私の心を捉えた。けれども、やがて別の考えが頭にひらめいた。それは、私は両親から生まれ育てられたが、本当は私は天の父のものである。それゆえ私は天の父を信じ、その父に感謝し、そしてその父の道を進まなくてはならない、という考えである。こうして私は日本から連れ出してくれる船を探し始めた。
(「日本脱出の理由」1865年、『新島襄自伝』25頁)

☞ 『新島襄365』【4月24日】

12



「壁」を越えるために

- ・現代社会における「壁」とは何か
- ・同志社にとっての「壁」とは何か
- ・「わたし」にとっての「壁」とは何か

13

3

キリスト教(主義)を振り返る
—異なる未来を生み出すために—

14

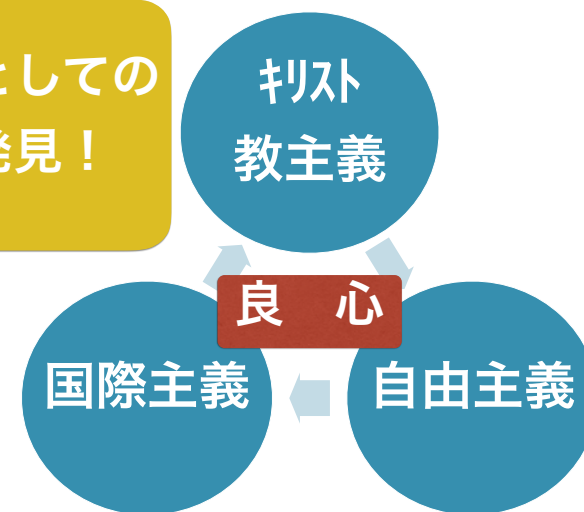
現在の同志社の教育理念



15

現在の同志社の教育理念

「抗う力」としての
理念の再発見！



16

真理似寒梅敢侵風雪開

- ・真理は寒梅のごとし。あえて風雪を侵して開く。
- ・時代の趨勢に抵抗できる精神。抵抗の原理とならない精神に、真理性はない。



同志社大学 寒梅館

17

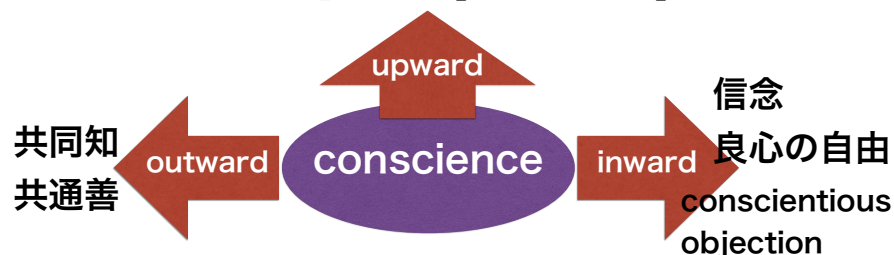
【復習】キリスト教主義の未来のカタチ

- ・宗教多元的な時代に対して→対話促進のための触媒（「地の塩」）
- ・社会の世俗化（宗教化）に対して→世俗的価値と宗教的価値の架橋
- ・SNS時代に対して→「裁く」のではなく「共に知る」
- ・大量消費時代に対して→欲望の制御・変換
- ・シームレスな時代に対して→「安息」による充足・解放
- ・格差拡大の時代に対して→「この最も小さい者」への強い眼差し
- ・科学技術時代に対して→ネクスト「深山大沢」に向かう活力

18

【復習】キリスト教(主義)と良心

- ・自己の内面的な対話（内なる他者との対話）
【個人的良心】→自己認識（self-awareness）
- ・他者と「共に知る」 【社会的良心】
- ・神と「共に知る」 【信仰的良心】



19

良心の実践者となるために必要な力

- ・切る力（disjunctive power）としての良心
 - ・「自治自立の人民」（同志社大学設立の旨意）
☞ 『新島襄365』【1月17日】
 - ・「同志社においては^{てきとうふき}倜儻不羈なる書生を圧束せず、努めてその本性に従い、これを順導し、もって天下の人物を養成すべき事。」（遺言）☞ 同【3月26日】
- ・つなぐ力（conjunctive power）としての良心
 - ・「人一人は大切なり。」（同志社創立10周年、1885年）
☞ 同【12月3日】
 - ・地方教育論（1882年）☞ 同【8月2日】

20

新しい価値の創造—先取の精神

私たちの学校をもっとも魅力的なものにするためには、ほかの学校に遅れをとらないこと、それどころかさらに先を行くことが、絶対に必要です。

（「アルフィーアス・ハーディー宛」手紙、1879年、『新島襄の手紙』154頁）

👉 『新島襄365』【7月2日】

21

現代社会
他者の欲望の模倣、AIによる最適化技術

22

切る力 (disjunctive power)

現代社会
他者の欲望の模倣、AIによる最適化技術

23

切る力 (disjunctive power)

イノベーション

現代社会
他者の欲望の模倣、AIによる最適化技術

24

切る力 (disjunctive power)

イノベーション

現代社会

他者の欲望の模倣、AIによる最適化技術

つなぐ力 (conjunctive power)

25

切る力 (disjunctive power)

イノベーション

現代社会

他者の欲望の模倣、AIによる最適化技術

Creating Shared Values

つなぐ力 (conjunctive power)

26

異なる未来を生み出すために

- 建学の精神（理念）を固定化（偶像化）してはならない。
- テキスト（新島の言葉）とコンテキスト（日本の教育史、近代化）の関係を理解し、150年という歴史的な文脈を踏まえた上で、21世紀にふさわしい教育と理念を創造する必要がある。
- 「良心」を同志社を越えて、一般社会や世界に通用するものにする。
- 過去に学び、過去に対する現在の自分の立ち位置を認識し、現在に向き合い、異なる未来を生み出す努力をする。

27

4 今回の課題（600～800字）

今回の講義の中で、あなたの印象に残った（重要であると思った）点（複数可）を、その理由と共に述べてください。

28